

2019年

NPO 法人設計協同フォーラム

設立25周年記念

暮らし 健やか 住まい展



これからの住まいづくり



2月24日(日)



13時～19時30分 (開場 12時30分)

板橋区立グリーンホール 1階ホール

(板橋区栄町 36-1 Tel03-3579-2221)

東武東上線「大山」5分 都営三田線「板橋区役所前」7分

参加費

1000円

<映画のみ500円>

17:30～19:30

*講座

*「人生フルーツ」上映

*懇親会 (3000円)

設計協同フォーラムは、1994年に建築士とマンションのサポートをする専門家が集まり設立しました。

東都生協、東京都学校生協と提携する、工務店と協同して国土交通省の補助事業に採択されるなど、個人の事務所ではできないことを集まり、継続することで進めています。住む人・使う人の思いを形に、そして長く豊かな生活が育めるように、社会の変化をとらえ、技術を高めるために、学習や交流を積み重ねて来ました。その一端を25周年を記念し冊子「暮らしを育む 住まいづくり読本—よい住まいはよい設計から」にまとめました。

「よい住まい」は家族の暮らしと成長を支えるもの。大家族から小家族へ、親しい人と暮らす、一人暮らしが増えるなど暮らしの形態は変わりつつありますが、家族のぬくもりがよい、懐かしく感じている方が多いと思います。「住まい」「家族」「老いる」とは、そんな問いかけを映画を通して共有できれば幸いです。

第91回 キネマ旬報ベスト・テン
文化映画第1位

人生フルーツ

Life is Fruity

上映時間 91分

(開場 15:10)

♪15:30～17:15

津端修一さん 90歳、英子さん 87歳

風と雑木林と建築家夫婦の物語 (C)東海テレビ放送



<講座> (「住まい読本」プレゼント)

♪13:10～14:00

マンションライフのヒント

サッシ交換・給排水改修で長寿命化を

千代崎一夫 (マンション管理士)

♪14:10～15:00

住まいと暮らしのヒント

外壁の断熱性能と耐震性を高めて

自由な間取りで快適に暮らす

柳澤泰博 (一級建築士)

【お申し込み】メール・電話・FAXで、お名前・連絡先をお知らせください。メールの方は件名に「住まい展参加」とご記入ください。映画のみ申し込みの方は「人生フルーツ鑑賞」としてください。

<主催> NPO法人 設計協同フォーラム

〒174-0072 東京都板橋区南常盤台 1-38-11 TEL 03-5986-1630 FAX 03-5986-1629

e-mail: sumaimachi@sumaimachi.net

住まいとまちづくりコープ内

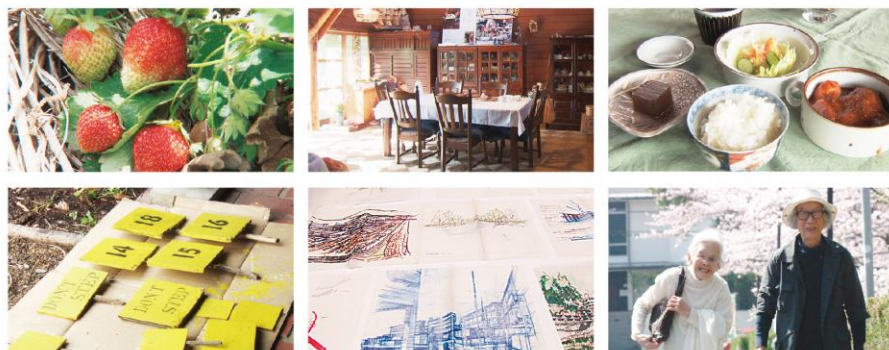
人生フルーツ *Life is Fruity*



風が吹けば、
枯葉が落ちる。
枯葉が落ちれば、
土が肥える。
土が肥えれば、
果実が実る。
こつこつ、ゆっくり。
人生、フルーツ。

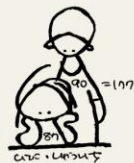
むかし、ある建築家が言いました。
家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない。

愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウンの一隅。雑木林に囲まれた一軒の平屋。それは建築家の津端修一さんが、師であるアントニン・レーモンドの自邸に倣って建てた家。四季折々、キッチンガーデンを彩る70種の野菜と50種の果実が、妻・英子さんの手で美味しいごちそうにかわります。刺繍や編み物から機織りまで、なんでもこなす英子さん。ふたりは、たがいの名を「さん付け」で呼び合います。長年連れ添った夫婦の暮らしは、細やかな気遣いと工夫に満ちていました。そう、「家は、暮らしの宝石箱でなくてはいけない」とは、モダニズムの巨匠ル・コルビュジェの言葉です。



かつて日本住宅公団のエースだった修一さんは、阿佐ヶ谷住宅や多摩平団地などの都市計画に携わってきました。1960年代、風の通り道になる雑木林を残し、自然との共生を目指したニュータウンを計画。けれど、経済優先の時代はそれを許さず、完成したのは理想とはほど遠い無機質な大規模団地。修一さんは、それまでの仕事から距離を置き、自ら手がけたニュータウンに土地を買い、家を建て、雑木林を育てはじめました——。あれから50年、ふたりは、コツコツ、ていねいに、時をたててきました。そして、90歳になった修一さんに新たな仕事の依頼がやってきます。

本作は東海テレビドキュメンタリー劇場第10弾。ナレーションをつとめるのは女優・樹木希林。ふたりの来し方と暮らしから、この国がある時代に諦めてしまった本当の豊かさへの深い思索の旅が、ゆっくりとはじまります。



ふたりのこと

修一さん

1925年1月3日生まれ。東京大学を卒業後、建築設計事務所を経て、日本住宅公団へ。数々の都市計画を手がける。広島大学教授などを歴任し、自由時間評論家として活動。

英子さん

1928年1月18日生まれ。愛知県半田市の老舗の造り酒屋で育つ。27歳で修一さんと結婚し、娘2人を育てる。畑、料理、編み物、機織りなど、手間ひまかけた手仕事が好き。

ふたりの本



キラリと、おしゃれ
〜キッチンガーデンのある暮らし〜
津端英子
津端修一 著
(ミネルヴァ書房, 2007)



あしたも、こはるびより。
つばた英子
つばたしゅういち 著
(主婦と生活社, 2011)



ききがたり
ときをためる暮らし
つばた英子
つばたしゅういち 著
(自然食通信社, 2012)



ひでさんのたからもの。
つばた英子
つばたしゅういち 著
(主婦と生活社, 2015)



ふたりからひとり
〜ときをためる暮らし それから〜
つばた英子
つばたしゅういち 著
(自然食通信社, 2016)



2017年
11月17日
刊行

きのう、きょう、あした。
つばた英子
つばたしゅういち 著
(主婦と生活社)



(C)東海テレビ放送

<主催> **NPO法人 設計協同フォーラム**

〒174-0072 東京都板橋区南常盤台 1-38-11 TEL 03-5986-1630 FAX 03-5986-1629

e-mail: sumaimachi@sumaimachi.net

住まいとまちづくりコープ内